

## 平成 2 5 年 1 2 月 猪 苗 代 町 議 会 定 例 会

### 町 長 所 信 表 明

本 日 、

平成 2 5 年 第 7 回 猪 苗 代 町 議 会 定 例 会 を 招 集 い  
た し ま し た と こ ろ 、 議 員 の 皆 様 に は 何 か と ご 多 用  
の 中 、 ご 出 席 を い た だ き 、 ご 審 議 を お 願 い で き ま  
す こ と に 対 し 、 深 く 感 謝 申 し 上 げ ま す 。

今 議 会 が 開 催 さ れ る に あ た り 、  
平成 2 5 年 度 一 般 会 計 補 正 予 算 案 な ど 、  
重 要 な 議 案 を 提 出 い た し て お り ま す の で 、 ご 審 議  
を お 願 い い た し ま す と と も に 、 議 員 各 位 の ご 理 解  
と ご 協 力 を お 願 い 申 し 上 げ る 次 第 で あ り ま す 。

提 出 議 案 の 説 明 に 先 立 ち ま し て 、  
当 面 す る 町 政 の 諸 課 題 に つ き ま し て 、  
所 信 の 一 端 を 申 し 上 げ た い と 存 じ ま す 。

#### **（ 平 成 2 6 年 度 予 算 編 成 方 針 に つ い て ）**

ま ず 、 は じ め に 、 平 成 2 6 年 度 予 算 編 成 方 針 に  
つ い て 申 し 上 げ ま す 。

国 で は 、 本 年 8 月 の 「 中 期 財 政 計 画 」 に お い て 、  
現 下 の 我 が 国 の 財 政 状 況 は 、 人 口 高 齢 化 等 の 要 因  
に よ っ て 歳 出 の 増 加 が 続 く な か 、  
リ ー マ ン シ ョ ッ ク 後 の 経 済 危 機 へ の 対 応 に

東日本大震災への対応が重なって、  
近年著しく悪化が進み、債務残高は国内総生産  
G D P の倍までに累増するなど、極めて厳しい  
状況にあるとしております。

また、同計画の地方財政については、地方の  
一般財源総額は「平成 2 6 年度及び平成 2 7 年度  
において、平成 2 5 年度の水準を下回らないよう  
実質的に同水準を確保する」という方針が盛り込  
まれたものの、来年 4 月からの消費税増税が今後、  
地域経済にどのように作用し、個人所得等にどの  
ような影響をもたらすか計り知れず、市町村への  
影響が懸念されるところであります。

こうした状況下、本町では、震災以降、  
一般観光客は戻りつつあるものの教育旅行等の  
大幅な減少により、観光はもとより観光以外の  
商工業などの地域経済が大きな影響を受けている  
状況が続いております。何よりも本町の早い復興  
に向けた取り組みが求められております。

町の財政状況は、歳入の根幹である町税収入に  
ついては、平成 2 6 年度以降も引き続き減少する  
見込みであり、地方交付税についても総務省によ  
ると、地域の自立を促す観点で施策を進めたいと  
表明し、「中期財政計画」では予算にメリハリを  
つけるとしております。

このことから依然として地方財政は不透明な状況にあるので、絶えず国の動向を注視してゆかなければなりません。

一方、歳出については、限られた財源を有効に活用するため、経費の削減と見直しを行い、行政のスリム化に努めておりますが、扶助費等の義務的経費の増加傾向に加え、新規大規模事業、都市計画及び生活関連の道路などの社会資本整備、下水道3特会への繰出金、施設管理経費の増加、急速に加速する少子高齢化対策など多額の財政需要が見込まれている所であります。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づいて平成24年度決算から算出した各種指標は、前年度よりも改善しているものの、依然として厳しい状況が続いており、平成26年度以降も大規模事業が予定されていることから、今後も事務事業の選択については、慎重かつ適切な判断により振興計画に位置付けた事業であっても厳しく選別を行う所存であります。

こうした点に鑑み、平成26年度予算編成の基本方針としては、自主財源の根幹である町税収入の減少が見込まれるなどの厳しい状況下にあるとはいえ、「猪苗代町の活性化と発展」、「町民の暮らしを守り、未来への希望の持てる町

づくり」という町政の原点に立ち、さらには復旧・復興を踏まえた施策並びに事務事業の重点化を図りながら編成してまいります。

具体的には、決算等の執行状況を参考としながら、先例に縛られない新たな視点により、自主的・主体的に事務事業の徹底的な見直しと優先順位付けを行うこととした上で、歳入にあっては、収納率の向上、受益者負担の原則の徹底、国・県はもとより各種機関の補助金・交付金等の特定財源の積極的な活用を図ってまいります。

歳出にあっては、経常的経費における冗費の削減を一層徹底するとともに、投資的事業では、事業の必要性、緊急性、投資効果、事業施行の確実性及び後年度の維持管理費等を十分検討し、振興計画の実施計画及び各種個別計画に基づいて厳正に計上することにしたします。

この方針を踏まえて、平成26年度予算は、東日本大震災からの復旧・復興から脱却した、将来の町活性化の基盤となるための予算と位置付けて、平成26年度の予算編成をしてまいります。

## **（町職員の給与の改定について）**

次に、町職員の給与の改定について申し上げます。

町職員の給与は、法において、生計費並びに国及び他の地方公共団体の職員並びに民間の事業者の給与その他の事情を考慮して定めなければならないとされておりますことから、県人事委員会の勧告に基づく県職員給与に準拠して改定をしている所であります。

平成25年度の給与改定については、平成25年10月4日に県人事委員会より県知事に対して、「職員の給与等に関する報告」が行われ、その報告の内容は、民間給与及びボーナス年間支給月額との格差等が無いことなど、本年度については勧告が行われないことから、据え置くことになりました。

町職員給与についても、県に準拠しておりますことから本年度の改正を行わないことし、据え置くことにいたします。

また、現在実施されている「国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律」に基づく国・県からの町職員給与の減額支給措置については、条例の規定のとおり、平成26年1月末をもって終了することとされ、これにより

町職員給与条例に定められた本来の給与水準となります。

今後、国・県の動向に注視し、地域の給与の実情を踏まえた給料表構造や諸手当制度の在り方を含めた給与制度の総合的見直しを検討する一方、優秀な人材を確保し、士気を維持・向上させ、能率的な行政運営を図るためには、適正な給与水準を確保していくことも必要であると考えている所であります。

町職員として、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務する使命感を持って、町民の負託に応えられる職員に研修等を通して育成してまいり所存であります。

### **(子ども・子育て支援について)**

次に、子ども・子育て支援について申し上げます。

すべての子どもの良質な成育環境を保障するためには、子どもと子育て家庭を社会全体で支援していくことが重要であり、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を目指して、「子ども・子育て支援3法」が昨年8月に成立した所であります。

本町においては、

「猪苗代町次世代育成支援行動計画」の見直し作業を行い、「後期行動計画」を策定いたしました。この計画の重点施策として、子育て支援ブック配布事業やネットワーク会議の開催とともに、地域子育て支援事業として、未就園の子どもと親が気軽に自由に利用でき、相談や情報提供などを行っている

「子育てサロン日向ぼっこ」を支援すると共に放課後児童健全育成事業として、小学校単位での放課後児童クラブに希望する全ての児童の受け入れを実施しております。

また、延長保育事業の拡充では、さくらこども園において、第2・第4日曜日に0歳から2歳児の預かり保育を行っております。

さらに多様化する子育てニーズに対応すべく、幼児教育と保育を一元化するとともに、全ての子育て家庭を対象に、子育て相談や親子が集える場の提供として、

（仮称）川西こども園整備事業を推進しているところであります。

今後もしばらく、国県の動向に注視するとともに、教育委員会との連携を図りながら、幼児期の学校教育・保育への要望、子育て支援のニーズを的確に把握するためのアンケート調査や新設する

「子ども・子育て会議」でのご審議など、広くご意見を聴取しながら、

「猪苗代町子ども・子育て支援事業計画」を平成２６年度までに策定し、本町の子育て支援の充実及び子育て環境整備について、総合的かつ計画的に推進してまいり所存であります。

### **（猪苗代駅前再整備の推進について）**

次に、猪苗代駅前再整備の推進について申し上げます。

猪苗代駅は、本町観光の玄関口として、また地域住民にとってかけがえの無い公共交通機関として活用されてまいりました。

しかし、目まぐるしく変化する社会・経済状況は、乗用車の普及や高速バス路線の広域展開、延伸等により、駅周辺に鉄道だけでなくより多くの機能を求めるようになっております。

ゆえに、この地域の秩序ある土地利用が求められることから、猪苗代駅前の旧会津バス営業所跡地について、その立地条件の良さと観光地の玄関口としての風致景観を保全する必要性、併せて町民福祉の増進や産業の活性化、体験学習施設や交流施設等の拠点用地として活用するため取得するものであり



ます。

このため、猪苗代駅前のあるべき姿を  
住民の代表者や商工観光団体、交通事業者等、  
関係団体の皆さまにご意見等いただき、  
「猪苗代駅前再整備検討委員会」を立ち上げ、  
その意見を尊重し、猪苗代駅前整備計画に反映し  
たうえで、駅前周辺の活性化と秩序ある土地利用  
を図ってまいる所存であります。

### **（道の駅猪苗代整備事業の進捗状況について）**

道の駅猪苗代整備事業の進捗状況について申し  
上げます。

道の駅の整備につきましては、町民の方々の  
ご意見等を反映すべく、整備検討委員会等を設置  
して進めてまいりました。

おかげさまで、早期開業に向けて進捗中であり、  
国・県をはじめ町民各位並びに関係機関・団体の  
皆様方のご理解とご協力にあらためて感謝申し上げ  
ます。

これまで、管理運営主体となる株式会社の  
設立に向け、町、町議会、あいづ農業協同組合、  
猪苗代町商工会、町内金融機関代表として  
東邦銀行猪苗代支店及び学識経験者で構成された  
「株式会社道の駅猪苗代設立検討会」を設置し、

第三セクターの基本的枠組みと業務領域、株式会社設立の概要及び出資依頼並びに発起人会設立について検討してまいりました。

現在は、「株式会社道の駅猪苗代」への出資についても、あいづ農業協同組合、猪苗代町商工会、株式会社東邦銀行、株式会社福島銀行、株式会社大東銀行、会津信用金庫から出資することにご快諾頂き、民間企業等を含む第三セクター方式で設立することにいたしました。

町を含めそれらすべての団体・企業が発起人となり、設立時に発行する株式の全部を発起人のみで引き受ける「発起設立」による会社設立に向け、先の「設立検討会」から「発起人会」に移行し、10月に第1回目の発起人会を開催したところであります。

発起人会に各所属の実務担当者による専門部会を設け、事業概要、経営方針、事業内容、経営環境、事業展開戦略、財務計画等を盛り込んだ事業計画策定に向け現在、協議・検討を重ねております。

道の駅は、地場産品の販路の拡大を図ると共に雇用の場の確保、地域活性化の拠点となる施設として地域経済に大きく貢献できるものと確信して

おりますので、町民各位のご理解とご支援を賜りながら、引き続き努力してまいる所存であります。

### **（水稲の収穫状況について）**

次に水稲の収穫状況について申し上げます。

水稲の生産調整につきましては、本年度本町に配分されました生産目標数量 10,112 トンに、東日本大震災により作付けが不可能となった地域からの買い入れ等による市町村間調整数量 1,575 トンを加えた 11,687 トンに対し、生産量は 11,614 トンとなり、個々の生産調整達成農家に対して補助金が交付された所であります。

さて、本年の水稲の収穫状況ではありますが、育苗期間中の低温や7月の日照不足等により生育・品質への影響を心配しておりましたが、梅雨明け後は連日好天に恵まれたことから、生育は順調に回復し、作況指数は、全国「102」、会津地方では、「105」の「やや良」となったところであります。

また、品質面でも、主力品種の「ひとめぼれ」を中心に、一等米比率が 97.3 % となり、昨年に引き続いて高い割合で良質米の生産が出来ました。

しかし、全国的に豊作となったことからの供給過剰による米価の下落、消費者のコメ離れに、T P P への参加や生産調整補助金の見直しなど、農家にとっては勿論のこと、農業を基盤とする本町経済にも深刻な影響を受けることは明らかでありますので、J A と連携しながら、猪苗代の農業のあるべき姿について、農家の皆様と共に検討してまいる所存であります。

### **（米の全量全袋検査について）**

次に米の全量全袋検査について申し上げます。

東日本大震災に伴う福島第一原発事故による、農作物の安全・安心への取り組みとして、本年も放射性物質吸収抑制剤塩化カリウムの散布への支援を行うとともに、出荷米や農家保有米はもちろん、加工用米や飼料用米など、生産されたすべての米については全量全袋検査を行い、その検査結果を消費者等に公開しながら風評の払拭に務<sup>つと</sup>めてきた所であります。

本年産米の検査数量は、30キロ入り米袋で26万2千袋であり、これまでの検査結果としましては、食品衛生法に定める基準値を超えた米は一袋もございませんでした。これひとえに、農家の皆様方の食に対する安全・安心への意識の

高まりの賜であり、感謝申し上げる次第であります。

ありがとうございました。

### **（経済情勢について）**

次に、経済情勢について申し上げます。

わが国の経済状況は、2013年7月から9月期の国内総生産GDPは、物価変動の影響を除いた実質年率換算で1.9%の増加と4四半期続けてのプラス成長となっております。

これは、GDPの柱である個人消費の伸び率が縮小しておりますが、住宅投資と公共投資がプラス要因となったことによるものであります。

一方、県内の経済情勢は、福島財務事務所の「県内経済情勢報告」によりますと、個人消費は回復しつつあり、生産はおおむね横ばいとなっている、雇用情勢は、一部厳しい状況がみられることから、「県内の経済は一部に弱さが見られるものの、持ち直している。」と判断をしております。

本町の経済指標のひとつとなる、本年1月から9月までの観光の入込人数は、約144万3千4百人と前年比で5.4%増加しているものの、震災前の22年と比較しますと16%の減少となっております。

国内の景気は、アベノミクス効果により、上向きになっておりますが、我々の地方には、まだまだ実感できない現状であり、とくに福島第一原発の汚染水流出が連日報道されているなど風評をまだまだ払拭できない状態にあることから、本町の観光の主力である教育旅行の回復が遅れておりますので、今後も根強く、首都圏域内の教育旅行関係者や学校及びその保護者等に対して重点的に本町の安全・安心をPRしてまいります。

町内においては、野口英世ふるさと商品券事業や公共工事の早期発注及び年末に向けた資金調達が円滑にできるよう県、町金融融資制度や利子補給制度を周知しながら町内商工業者の支援をしてまいる所存であります。

### **（観光振興について）**

次に、観光振興について申し上げます。

東日本大震災に伴う福島第一原発事故による風評被害対策事業については、これまでの評価と検証を行いながら、事業計画に反映し、効果の高い対策を講じてまいりました。

9月には、昨年に引き続き「風とロック芋煮会猪苗代2013」が

猪苗代スキー場で盛大に開催され、2日間で約7千5百人の観客を動員することができました。

猪苗代観光協会の「素泊まり・会場までの送迎プラン」の宿泊プランも来場者に大変好評であり、町内宿泊者の増加につなげることもでき、中でも、町食生活改善推進委員会の皆様による「芋煮」や、J A肉牛部会による「猪苗代牛肉」の提供などのおもてなしは、これまでにないにぎわいを創出するなど本町の食の安全・安心を広く発信することができました。

10月には、長野県伊那市の「高遠まつり」、東京都豊島区の「池袋ふくろ祭り」や小平市の「小平まつり」などで町商工会、観光協会と連携して、本町の魅力と地場産品の販売を通して、友好を深めながら、観光振興に努めてまいりました。

一方、「猪苗代湖ハーフマラソン」など町内開催の各種のイベントに際しても、町民各位をはじめ、町内各種団体の皆様のご協力をいただきながら、積極的に参加して、風評被害対策を展開してまいりました。

ほかに、インターネット誘客事業として「楽天クーポン事業」を9月から実施するとともに

に、１１月からの

「冬季猪苗代観光商品券発行事業」、１月からの  
「ゆきいち券発行事業」など、  
冬季シーズンに向けた誘客活動を展開して、  
本町経済の復興に繋げてまいる所存であります。

### **（２０１４ＦＩＳ フリースタイルスキーワールドカップ 福島猪苗代大会について）**

次に、２０１４ＦＩＳ フリースタイルスキーワールド  
カップ福島猪苗代大会について申し上げます。－

平成２６年２月２８日から３月２日までの  
３日間、猪苗代町のリステルスキーファンタジア  
において「２０１４ＦＩＳ フリースタイルスキー  
ワールドカップ福島猪苗代大会」が開催されるこ  
とになりました。

本大会は、昨年に引き続き開催されるものであ  
り、世界各国から多くの選手・役員が  
来町することから、福島・猪苗代の元気な姿と  
すばらしい自然豊かな地域の魅力を世界へ向けて  
発信し、東京電力福島第一原発事故に伴う  
風評被害の払拭と復興を図っていく絶好の機会で  
あります。

前年の大会では、ふくしまの安全・安心を  
広く発信して風評被害の払拭が図られ、



本年の観光入込の増加に繋げることができ、  
競技と併せて実施した「おもてなし」のイベント  
に対して参加の選手・役員、来場者から高い評価  
を得た所であります。

本大会は、来年２月にロシアで開催される  
「ソチオリンピック」直後に開催される世界大会  
であり注目度も高いことから、  
ふくしまの真の姿を国内外に対して発信すること  
が出来ると確信しております。

具体的なイベントとしては、放射線の  
空間線量の測定と公表、レセプションでの  
地元の食材による料理等の提供とセシウム値の  
公表、競技会場での地元のもち米による  
餅つき大会を通して食の安全安心をPRしてまい  
ります。

おもてなしの主なものは、会場までの誘導路に  
約３００個の歓迎の「雪だるま」の設置、  
競技会場周辺に「かまくら」や「雪上滑り台」等  
を設置して、こども達が安全な雪を楽しむもの  
とするなど、選手・役員をはじめ来場者の皆様に  
安全・安心を実感し、楽しんでもらえる大会と  
するものであります。

何よりも、まじかに鍛え抜かれた  
アスリートの雄姿を観戦することにより、町民に、

特に子ども達に「勇気と希望」を与え風評被害の払拭はもとより、復興の原動力になるものと確信しております。

### **（原子力損害の損害賠償状況について）**

次に、原子力損害の損害賠償状況について申し上げます。

東京電力福島原子力補償相談室によりますと  
10月末までの町内事業者による損害賠償請求は、  
1,490件で約73億6千万円、その内、  
賠償金の支払いを受けたのは、約63億8千万円  
となっており、残りについては、現在確認手続き  
中とのことであります。

今後も東京電力による定例相談会が開催されますので、損害賠償請求漏れのないように、  
あらためて、周知徹底を図ってまいります。

なお、町の損害賠償請求については、  
平成24年度会計による復旧・復興を図るための  
除染対策、放射線対策及び風評被害対策など、  
事故に起因する事業に係る経費について、  
原因者である東京電力が当然に負担すべきものとして、第2回損害賠償請求を11月28日に行った所であります。

## （教育行政について）

次に、教育行政について申し上げます。

平成20年度より地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、毎年、教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を公表しなければならないとなっております。

本教育委員会では、課題や取り組みの方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図ると共に、町民の皆様にご説明し、さらに信頼される教育行政を推進するため、平成24年度に実施した事業について、外部委員の知見を活用した点検・評価を行い、報告書にまとめ、公表したところであります。

点検・評価の結果は、教育委員会の運営、幼稚園、小・中学校の管理運営、生涯学習、生涯スポーツ、文化財に関する事業など重点16項目について、5段階評価で点検評価を行い、期待以上のA評価が12項目、やや上回るB評価が4項目と概ね良好な管理運営がなされているという評価をいただきました。

今後は、すべての項目でA評価をいただけるように、さらに、鋭意努力してまいる所存でございます。

ます。

次に、（仮称）川西認定こども園整備事業の進捗状況について申し上げます。

（仮称）川西こども園整備事業については、これまでに機会ある毎にその進捗状況についてご説明申しあげてまいりました。

こども園建設用地も地権者のご理解とご協力により確保することが出来ましたので、各種法手続きを現在進めている所であります。

本整備計画では、こどもたちが安心して、のびのびと生活できることはもちろんのこと、子育て支援センターや一時保育室を設けるなど、地域の子育て世帯を支援するとともに、一時避難所としての防災機能や地中熱など再生可能エネルギーを導入する施設とするなど、将来を担う子供たちにふさわしいこども園となるよう、平成27年4月開園を目途に整備してまいり所存であります。

### **（提出議案）**

最後に、本定例会に提出いたしました議案について申し上げます。

提出いたしました案件は、  
専決処分の報告案件が1件

平成 2 5 年度補正予算案件が 3 件

条例の制定案件が 2 件

条例の一部改正案件が 3 件

工事請負契約の変更契約案件が 1 件

財産の取得案件が 1 件

町の境界変更案件が 1 件の計 1 2 件であります。

まず、報告第 1 3 号専決処分の報告について

（猪苗代町ふるさと歴史館建築主体工事請負契約の一部変更について）は、東日本大震災の復旧事業の影響により工期延長の変更を行ったものであります。

議案第 9 0 号平成 2 5 年度猪苗代町一般会計補正予算（第 4 号）などの主な補正予算は、事務事業の確定見込みによる補正を行うものであり、主な内容は、職員用パソコン更新作業委託、フリースタイルスキーワールドカップ大会開催の補助金、川西こども園整備事業と 7 月の豪雨の農林業施設の災害復旧等を計上いたしました。

議案第 9 7 号は、都市公園事業で整備いたします、図書館の法的整備のための条例を制定するものであり、議案第 9 9 号の財産の取得については、猪苗代駅前の適正な開発と活性化のために旧会津バス猪苗代営業所跡地を取得するものであ

ります。

以上、主な提出案件につきまして、ご説明申しあげましたが、各議案の細部につきましては、それぞれ所管の課長に説明いたさせますので、慎重にご審議のうえ、速やかなご議決を賜りますようお願い申し上げる次第であります。

どうぞよろしくお願いいたします。

以 上

+